

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

戸隠地区再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県、長野市

3 地域再生計画の区域

長野市の区域の一部(旧戸隠村地区)

4 地域再生計画の目標

計画地域は一部が上信越高原国立公園に指定されているとともに、平安の昔・都から流されてきたと戸隠の地で伝え語られている、鬼女紅葉伝説が生まれた荒倉山の麓に位置し、また山岳密教の修験者達が広めた山岳信仰のメッカとなった、風光明媚な自然の残る地域である。

しかし、人口の減少(特に若年層)により過疎化が課題となっており、高齢者比率が昭和35年の9.1%から平成17年4月には35.8%へと増加している。

このため今後は地域を支える力となる若者等、生産年齢層の定住を図ることが重要であり、国・県道へのアクセス道路や集落間を結ぶ道路の整備等、居住のための諸条件整備が必要となる。

本計画では林道の整備により、高性能林業機械の導入が可能となり、手入れ不足となっている間伐等の森林整備が促進され、森林のもつ多面的機能の発揮につながるるとともに、沿線にあるカタクリ群生地の散策、荒倉キャンプ場の利用、また毎年秋に行われる紅葉伝説にまつわる祭りに、能の舞等上演される民舞伝習施設・鬼女紅葉が追討され隠れたとされる岩屋への遊歩道を利用した見学会等、森林への親しみが増し、各施設へのアクセスが容易となり利便性が図られる。

一方、本計画に連携する市道は、県道・国道を經由して本市の中心市街地とを結ぶ主要な幹線道路である。北方面はそば・スキー場で有名な戸隠高原、東方面は市役所支所・学校・診療所へのアクセス道となっており、これを整備することにより交通の利便性が図られる。

これにより、中山間地域と都市住民との交流を活性化するとともに、地域の情報発信などを進め、豊かな自然、文化的遺産、素朴な人情など山村ならではの良さを再認識し、活力ある地域の再生を目指す。

(目標1) 森林整備の促進と林業の活性化

利用区域面積	644ha(針葉樹252.97ha/広葉樹391.24ha)
間伐等・整備実施面積	
	H12~H16実績 96.86ha
間伐等・整備計画面積	
	H17~H21計画 99.85ha
	<hr/>
計	196.68ha
間伐実施面積	H12~H16実績 19.21ha
	H17~H21計画 41.80ha
	約2倍の間伐の実施が可能となる。

(目標2) 市道・林道整備による拠点施設へのアクセス改善

本地区観光名所である、紅葉の岩屋・荒倉キャンプ場への市街地からの時間短縮をめざす。

◎戸隠高原方面(バードライン)からのアクセス 約23Km

◎国道406号方面(鬼無里線)からのアクセス 約18Km

5Kmの短縮

国道406号線からのアクセスで約20分の短縮が見込まれる。

(目標3) 観光施設の利用者拡大による地域の活性化

1	荒倉キャンプ場年間利用者数	売上(千円)	
	H14年	1,600人	1,446
	H15年	1,580人	1,447
	H16年	1,620人	1,492
	今後の目標数値	2,000~2,400人	1,800~2,200

2	民舞伝習施設	
	H14年	160人
	H15年	165人
	H16年	160人
	今後の目標数値	200~250人

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

今回整備を行う「林道釜岩線」は644haの利用区域を持ち、現在舗装事業の進捗に伴い高性能林業機械の導入により森林整備が進んできているが、更に効率化を進め生産コストの低下を図り、地域林業の活性化と、沿線にある観光施設へのアクセスの改善を行う。

また「市道中村田頭線」は「県道栃原北郷信濃線」及び「国道406号線」を通り、長野市街地へのアクセス路線である。しかし急勾配・急カーブの箇所が多く、すれ違いも困難な箇所もあるため、新設・改良工事等実施することにより移動時間も短縮され、林道・市道一体的な整備により公共施設・観光施設への交通の利便性が図られる。

◎ 林道認定年月日 S50・3・31

◎ 市道認定年月日 S62・3・31

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[施設の種類・(事業区域)・実施主体]

- ・ 市道 (長野市) 長野市
- ・ 林道 (長野市) 長野市

[事業期間]

- ・ 市道 (平成17~21年度)
- ・ 林道 (平成17年度)

[整備量]

- ・ 市道 L=565m
- ・ 林道 L=800m

[総事業費]

- ・ 市道 300,000千円 (うち交付金150,000千円)
- ・ 林道 23,000千円 (うち交付金 11,500千円)

5-3 その他の事業

関連事業

- ・ 市道参宮線の整備
地方道路整備臨時交付金(雪寒)事業を活用して、スノーシェルターと一部道路拡幅改良工事の実施
関連施設

- ・ 荒倉キャンプ場 ・戸隠地質化石館 ・大昌寺(紅葉伝説ゆかりの古刹)
ソフト事業
- ・ 紅葉祭り 毎年10月第3日曜に開催 参加者300~500人
 - 内容
 - 鬼女紅葉供養祭
 - 能・謡曲等の披露
 - 遊歩道を利用した見学会(紅葉の岩屋)
 - ・ 鬼女紅葉の位牌が安置されている、大昌寺による供養祭と紅葉ゆかりの能の舞・謡曲を県内外の愛好家達が披露する。

6 計画期間

平成17年度~21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

- ・ 4・に示す地域再生計画の目標について、長野市が計画終了後に状況を把握・公表するとともに、達成状況の評価・改善すべき事項の検討等行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

- ・ 該当なし